

#01_甘やかしたがりなお隣のお姉さん

//あなたの家の前

「あ、お隣さん。こんばんは～」

「今お帰りなんですか？」

「そういえば...最近遅いんですよね？」

「随分お疲れのようですし...」

「最近...忙しいんですか？」

「ふふ、顔に書いてますよ？ 疲れた～って」

「頑張るのはいいことですけど...」

「あまり無理はしすぎないようにしてくださいね？」

「お隣さんが体調を崩されたら、私も心配ですし」

「本当ですよ～？」

「こうして挨拶する仲じゃないですか～」

「私、仲良くなった人とは、末永くお付き合いしたいんです」

「だからお隣さんにも、ずっと元気でいてほしいんですよ」

「あ、いいこと思いついちゃいました！」

「お疲れのお隣さんを～私がマッサージで癒してあげるんです！」

「そうすれば疲れも取れて、元気になりませんか？」

「遠慮すること無いですよ～」

「夜は時間がありますし、仲良さんの力になりたいですから」

「あ、もしかして私じゃできないって思ってます～？」

「私、こう見えて結構マッサージ得意なんですよ？」

「友達からも評判良くって、よく頼まれるんですから」

「ですから、ご迷惑じゃなければ、ぜひ！」

「ふふっ！ ありがとうございます」

「それじゃあ早速...今晚からやっちゃいましょうか」

「ふふ、善は急げ...です！」

「それでは後で私の部屋に来て...」

「ん～それとも、お隣さんのお部屋に、お邪魔したほうがいいですか？」

「わかりました。ではそうしましょう」

「ふふ、お隣さんの疲れをしっかりとれるよう、頑張りますね」

「マッサージがしやすいように、薄手の格好になっておいてくださいね」

「では、また後ほど...よろしくお願いしますね～」